ボーリング柱状図

ボーリングNo. 1 4 1 3 9 4 - 1 - 2 調査名 忠生579号線地質調査業務委託 事業・工事名 東京都町田市上小山田町地内 北緯 35° 35' 58.4" 調査位置 ボーリング名 1-2平成27年1月19日~27年1月21日 東 経 139° 23' 54.8" 調查期間 町田市 発注機関 ボーリン 主任技師 調査業者名 グ責任者 代理人 ハンマー 方 東邦 DO-D 半自動落下装置 試 錐 機 孔口標高 £ 落下用具 盤勾配 用 +114.77m 270°/ 鉛直 ポンプ カノーV6 エンジン ヤンマーNFD9 25.29m 総掘進長 度 種 白 180° 室内 掘 記 色相相相 原位置試験 試料採取 標 標 層 柱 土 標準貫入試験 水位 試 験 名 10cm毎の 験 進 質 対対 および結果 深 試 採 打擊回数 m 状 厚 度 高 料 取 0 10 20 度 度 度 測 月 密稠 貫 番 方 定月 m 10 20 30 量 5 5 5 m 号 法 m Ħ 分 調度度 m m m 機能性土主体 ・ 粘性弱い、含水中位 0.0~0.2m、草根が多量混入 ・ 不均質、粘性弱い、含水中位 盛土・ 褐 114,07 0.70 0.70 粘性土 113,77 0.30 1.00 ローム 1.15 1 1 1.50 14 11 軟ら かい 不均質、粘性中位、含水中位 粘土質 物理 一UU 2 112.77 1.00 2.00 非常 凝灰質粘土主体 に硬 不均質、粘性中位 い 径2~5mmの礫及び砂が混入 1/20 3: 89 3. 36 礫混り 6 7 8 21 21, 0 30 3. 45 110, 72 2, 05 4, 05 4.15 別孔試験 4. 45 5.15 7-2-D-5刚孔 物理 5.45 6. 15 6 中位 別孔 6.45 粘性中位 所々,、砂が少量混入 径2~5mmの礫が点在 6~9m、所々,半固結状をなす 9m付近、浮石が多量混入 9m以深、含水やや多い 凝灰質シルト 別孔 7. 45 8.15 8 别孔 8.45 9.15 9 -2-D-9刷孔 物理 --UU 9.45 10, 15 10 10, 45 104.07 6.65 10.70 11 11.15 粘性中位 102, 87 1, 20 11, 90 微細砂〜細砂主体、含水中位 径4mmの亜円礫が混入 **径2〜40mmの亜円礫主体** 12 102, 52 0, 35 12, 25 黄灰 確認最大粒径100mm 13 13, 15 マトリックスはシルト混り細 9 31 10 50 71, 4 非常に密 含水中位 12.9~13.25m、シルト混り細砂を挟む 13.75~13.9m、径100mmの礫が 100, 87 1, 65 13, 90 14 13 16 19 48 48.0 30 14, 45 15 11 15 18 44 44.0 15.45 30 16 10. 15 11 14 17 42 12. 0 16. 45 30 17, 15 17 10 13 15 38 **38.0** 17.45 30 砂粒子ほぼ均一、含水中位 全体にシルトが少量混入 18. 15 9 12 14 35 35, 0 18. 45 30 18 19. 15 7 11 13 31 31.0 19 20. 15 7 10 13 30 30. 0 20. 45 30 20 93, 77 7, 10 21, 00 21. 15 21. 31 29 21. 31 6 22. 15 22. 31 26 22 砂粒子ほぼ均一、含水中位 シルトが少量混入 23. 15 26 24 23. 30 5 23 50 100.0

> 24. 15 28 22 24. 30 5

> 25. 15 30 20 25. 29 4

50 14 20

24

89, 48 4, 29 25, 29